鹿児島神宮所蔵陶磁器

【所　在　地】　鹿児島県霧島市隼人町内２４９６－１　鹿児島神宮
【種　　別】　県指定有形文化財（工芸品）
【指定年月日】　平成２２年４月２３日

灰陶印花象文壺（左:タイ産　右:写し）

青磁人物文八角瓶（左:中国産　右:写し）

青磁牡丹文瓶（左:中国産　右:写し）

青磁花唐草文瓶（左:中国産　右:写し）

法花牡丹文瓶（左:中国産　右:写し）

鹿児島神宮に宝物として伝えられてきている陶磁器は，神宮史に19点記載されている。そのうち，中国産，タイ産の陶磁器（14～16世紀）が８点，それらの写し（19世紀）が８点（計16点）あり，中国産，タイ産については，伝世してきた渡来品と認められる。写しについては，形状や青磁色などが再現されており，当時の陶工の技量の高さがわかる。この写しは，当時の技法を伝えるものとして非常に貴重である。中国産，タイ産の陶磁器についても，渡来品である点，写しの見本となった点において貴重である。